

学校教育目標	<自らかがやく、ともにかがやく> ○自ら考え、ともに学び合う子を育てます。(知) ○思いやりの気持ちをつなげ、実践できる子を育てます。(徳) ○心と体のたくましい子を育てます。(体) ○「自分が好き」「学校が好き」「まちが好き」な子を育てます。(公) ○視野を広げ、国際社会に生きる子を育てます。(開)				
	創立 53 周年 児童生徒数: 515 人	学校長 天野 直美 主な関係校: 中田中学校 中田小学校	副校長 阿久井 勲	2 学期制	一般学級: 15 個別支援学級: 5

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <コミュニケーション力> <心身ともにたくましく生きる力>	中田中学校 中田小学校 東中田小学校	○自分で考え、判断する力を育てます。○自分も他者も大切に する心を育てます。○中田のまちのよさを愛する心を育てます。 ・小中合同授業研究会を通して、指導の連続性を図る。 ・既存の児童生徒交流の場を生かし、3校の交流を促進する。 ・ブロック内専任会を柱に、児童生徒指導についての定期的な情報共有を密に行 う。

中期取組目標	学校教育目標の具現化のために、「いじめのない、明るく仲良く楽しい学校」づくりを目指します。(一人ひとりに寄り添い、見守り、安心して子どもたちが自分のよさを発揮できる場作りを「ハンドメイド」の合言葉のもと、行っていきます。) (知)分かる喜びと学び合う楽しさを通して、課題解決に向けて粘り強く取り組む態度を育てます。 (徳)自尊感情を高め、物事の善悪を判断し、感謝の気持ちをもち、思いやりをつなげ、実践していく心と態度を育てます。 (体)自他の生命を尊び、困難にも負けないたくましい心をもち、進んで健康づくりに取り組む態度を育てます。 (公)地域の方々への挨拶も自分から進んでできるような地域との関係づくりをし、まちが大好きな気持ちを育てます。 (開)様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げ、国際社会で生きる力を育てます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 担当 学習部会	①指導の統一性を意識した教科担任制を継続し、より安心して自己表現ができる授業展開を図る。 ②自分づくりに関する力を育むために、可能な限り地域教材を意識し、育てたい資質能力を身に付けさせるための支援の在り方を研究し、授業改善を行う。
豊かな心 担当 児童部会	①教科横断的に道徳教育の充実を図り、生活の中での判断力を養う。②「いのちの学習」を通していのちの尊さにふれ、自他を尊重できる気持ちを養う。③「たてわり活動」では、異学年交流を通して、人を思う心や責任感、協調性を養う。
健やかな体 担当 活動部会	①学校でも家庭でもよりよい生活習慣で過ごす大切さを意識できるようにし、保護者と連携して「毎日げんきカード」を活用することで、自分自身の心と体を見つめめさせる。②体力アップタイムや大縄大会などから運動の多様性に気付き、喜びや楽しさを味わわせるようにする。
児童指導 担当 児童部会	①「スタンダード」の全職員・児童・保護者の共通理解を図る。②児童一人一人に寄り添いながら状況を理解する。③児童を取り巻く諸課題について、迅速かつ組織的に対応し、経過等についても児童理解の場において全職員で共通理解する。
特別支援教育 担当 児童部会	①「特別支援教室」について教職員で共通理解を図り、手続きや内容等について保護者に周知し、個に応じた支援をめざす。②YPアセスメントを基にした横浜プログラムに積極的に取組み、学級経営の基盤を作る。
地域連携 担当 活動部会	①地域行事と学習課程が連携できる学習計画を探りながら、児童に地域所属感をもたせる。 ②地域コーディネーターを新設し、各学年に応じた学習の中での地域との関わりの中で人々との連携を深める。
幼保小連携 担当 学習部会	①幼保小連携推進校の活動を軸として、幼保小のつながりを意識した相互交流を引き続き行う。 ②資質能力の育成を意識した交流の目的を明確化し、それに沿った計画を基に、交流活動を行う。
自分づくり (キャリア教育) 担当 活動部会	①キャリアパスポートを作成し、自分にできることを考えさせる。②たてわり活動・委員会・係の活動を充実させ、自分にできることに気付き、自分の役割に責任をもち、自ら進んで取り組む機会をもつようにする。
いじめへの対応 担当 いじめ防止委員会	①人権やいじめ防止についての校内研修を充実させ、子どもの自己有用感・自己肯定感を高める授業や児童支援を行なうことができるようにする。②年間の取組として子ども会議を有効活用し、子ども一人ひとりがいじめの問題について自分事として考え、行動できるようにする。
人材育成・組織運営 (働き方改革) 担当 校長	①全職員が三部会に所属し「一人一役」を担い、働き方改革を念頭において内容の改善を図ることで、学校全体の働き方の意識向上につなげる。②「資質・能力」ベースの授業を中学校ブロック内で公開し、授業力向上を図る。③教員相互の業務交流を活発にし、支援し合い、キャリアアップの姿を共有できるようにする。